

## 平成29年度 環境教育の取組例

三重県教育委員会

【取組例：中学校】

学年等	活動内容
伊賀市立 島ヶ原 中学校	<p>○ゴミの分別ゲームと環境標語づくり</p> <p>6月8日に、生徒会環境美化委員会が企画・運営を行い、総合的な学習の時間に以下の目的で「島ヶ原中学校環境デー」を行った。</p> <p>目的</p> <p>(1) 日常生活と結びつけて個人の環境への意識を高め、環境保全活動について自主的に行おうとする態度を培う。</p> <p>(2) ファミリー（小中合同縦割班）や全校生徒の交流をはかる。</p> <p>最初に環境についてのクイズを行った。現在、課題となっている環境問題（大気汚染、酸性雨、地球温暖化、砂漠化、エネルギー問題、水質汚染など）や環境保全、リサイクルに関わるクイズに取り組むことで、自分たちを取り巻く環境の変化について理解し、自分たちが環境保全のためにできることは何かについて考えることができた。</p> <p>次に、各ファミリーで、全校生徒が持ちよったゴミを見て、伊賀市によるゴミの分別にはどのような種類があるか話し合い、相談しながら画用紙にまとめていった。その後、環境美化委員が分別の種類を詳しく発表した。知らなかったことが多かったようで、興味を持って聞くことができていた。3年生が実際に持ちよったゴミを分別する場面では、今までの積み上げもあり、ほとんど正確に分別することができた。環境美化委員の、ゴミを減らすポイント4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）についての説明でゴミを細かく分別することで、ゴミを減らし、資源の活用につながることを学習した。限りある資源を大切に、私達の地球を守るために私達一人ひ</p>  <p style="text-align: right;">（環境美化委員による発表の様子）</p>  <p style="text-align: center;">（ゴミ分別ゲームの様子）</p>

とりが環境問題に関心を持ち、自分にできることを考え、これからはみんなで環境問題に取り組んでいくことを確認し合った。

最後に全校生徒で、「島ヶ原中学校環境デー」で学んだことをもとに、環境標語を考え、一人ひとりが短冊に書き、ファミリー毎に発表を行い、「島ヶ原中学校環境デー」の取組を終えた。一人ひとりが真剣に環境問題について考える大切な時間となった。後日、全員の標語を校舎内に掲示するとともに、環境標語の審査を行い、月曜集会で表彰した。



(環境標語づくりの様子)